

津南地域衛生施設組合ごみ処理場、一般廃棄物最終処分場における空間放射線量及びごみ焼却施設における灰中の放射性物質の検査結果について

津南地域衛生施設組合

管理者 津南町長 上村 憲 司

空間放射線量及び灰中の放射性物質について検査を行ったところ、結果は以下のとおりでした。

(1) 空間放射線量

単位：マイクロシーベルト/h

場 所	測定日	測 定 値
ごみ処理場	平成 28 年 8 月 22 日	0.040～0.052
最終処分場	平成 28 年 8 月 22 日	0.029～0.042

※ 地上 1 メートル地点 4 か所での定点測定結果です。

※ 新潟県では、柏崎刈羽原発でのモニタリングポストによる観測結果をもとに 0.016～0.16 マイクロシーベルト/h を通常の範囲としています。

※ サーベイメータによる測定結果です。サーベイメータは、人体の被ばく管理用のために最も敏感な皮膚下の数値に補正したうえで表示されます。このため、サーベイメータの測定値は、モニタリングポストの測定値に対し、3 割程度高めになる傾向があります。

(2) 灰中の放射性物質

単位：ベクレル/kg

試料名	試料採取日	セシウム 134	セシウム 137	合計
焼却灰（主灰）	平成 28 年 8 月 23 日	検出しない	検出しない	検出しない
ばい塵（飛灰）	平成 28 年 8 月 23 日	検出しない	13	13

※ 焼却灰（主灰）：ごみの燃焼後に焼却炉に残った灰

※ ばい塵（飛灰）：ごみが燃焼する際に発生するガスの中に含まれているススを集塵機（バグフィルタ）で捕集した灰

※ この検査の検出限界値は 10 ベクレル/kg です。

※ 「検出しない」とは、放射性物質が存在しない。または、検出限界値未満であることを表します。

※ セシウム 134 及び 137 の合計が 8,000 ベクレル/kg 以下であれば、一般廃棄物最終処分場に埋立処分できることとなっています。